

教養教育としての生活園芸

持続可能な環境と社会を担う市民の育成



2007年12月 恵泉学園大学

教養教育としての生活園芸

持続可能な環境と社会を担う市民の育成

1929年 恵泉女学園創立
聖書・国際・園芸



1932年の園芸

1988年 恵泉女学園大学
人文学部を開設
(東京都多摩市)



教養教育としての生活園芸

持続可能な環境と社会を担う市民の育成



恵泉女学園大学多摩キャンパス

建学の理念と教養教育



教養教育としての生活園芸

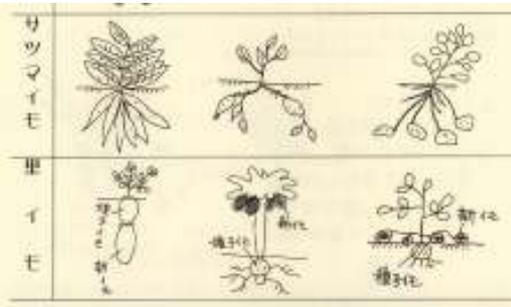
持続可能な環境と社会を担う市民の育成

- I 導入経過
- II 取り組み体制
- III 生活園芸 I の概要と効果
- IV 専門教育への展開
- V 課題と今後の実施計画



キュウリの誘引

イモはどこにできるでしょうか？ (『教育農場の四季』p.60)



身近な野菜の姿を知らない学生



大学生にも食農教育が必要な時代

生活園芸の導入経過

1988年 必修科目「生活園芸Ⅰ」(教育理念の体現)

「自然を慈しみ、生命を尊び、人間の基本的あり方を学ぶ」

1994年 有機園芸に転換(現代的課題への対応)

「人と自然の共生を尊重し、持続可能な環境と社会を目指す」

2001年 教育農場 有機JAS認定取得
人間環境学科設置

「専門教育においてこれらの視点を継承・発展」

2005年 人文学部から人間社会学部を分離

「教育理念に対応した副専攻(聖書、国際、園芸)を新設」

7

生活園芸の導入経過

教育目的の共有プロセス

1994~1995年:

・有機栽培の導入 病虫害の発生と収量低下

⇒担当者間の徹底した議論

☆「教育としての有機園芸」を確認

1998年~:

・入学定員倍増 園芸担当者増

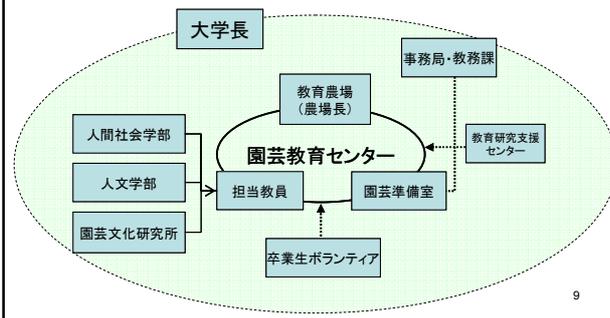
⇒教育効果の検証、栽培プログラムの再検討

☆「教育農場の四季」がキレムの標準化

☆「恵泉園芸教育の基本理念」教授会確認

8

本取り組みの実施体制



9

生活園芸の実施体制

① 園芸教育センター

対象「生活園芸Ⅰ」

「生活園芸Ⅱ」

担当者会議の定期開催

- ・園芸教育全体の企画調整
- ・生活園芸Ⅰの内容調整
- ・教育成果の検証
- ・教育理念の確認

② 園芸文化研究所

園芸文化研究・助成

公開講座

10

生活園芸Ⅰの特性

教育理念に関する必修科目、栽培実習



11



12

有機園芸の採用と地域資源の活用



八王子産「牛糞堆肥」



街路樹等の刈り込み枝

2人一組で責任をもって区画を管理



キュウリの苗計



キュウリの収穫



ムギワラギクの区画

生活園芸 I の実習風景



春学期



ジャガイモの植付け



キュウリの手入れ



ジャガイモの収穫



収穫量の記録



私が育てた最初のいのち



野菜の 試みに感動



畑で茹でて試食

秋学期



除草



植え付け・播種



耕うん

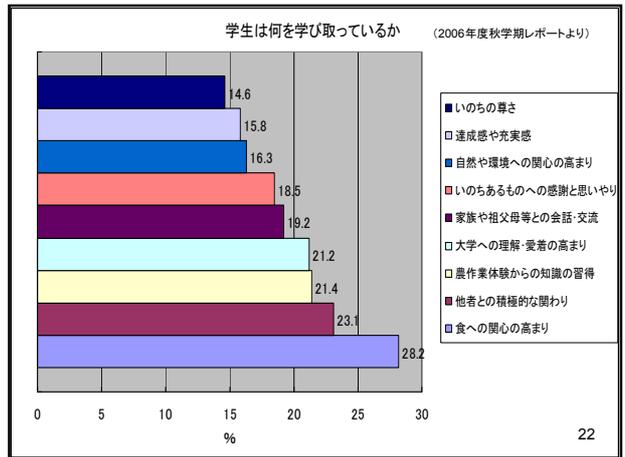


授業を行うにあたっての目標

- ①過程の重視：収穫という結果だけでなく、収穫にいたる栽培過程を大切に
- ②五感を働かせる：周囲の植物や季節の変化を体感し、観察する姿勢を養う
- ③関係性への注目：他者（植物、動物、友人、環境）との関係に目を向ける
- ④循環の認識：農場内、地域内、地球規模での循環を認識する
- ⑤視野を広げる：さまざまなかわりのなかから、多方面へ視野を広げていく

21

冬の教育農場 ハクサイ





関係性の認識・再構築

- ①人と作物の関係
- ②人と他の生き物の関係
- ③他の生き物同士の関係
- ④人と自然の関係
- ⑤人と人の関係

26

生活園芸 I の成果

- ・豊かな人間性の涵養
 - ・いのち、子育て、食への関心
- ・社会性の向上、共生への理解
 - ・人間関係の再構築
- ・持続可能な環境・社会への関心
- ・導入教育＝教育理念の理解と学習意欲の醸成
 - ・存在価値の確認と自己肯定
 - ・理念の定着、大学への帰属意識の高まり

→大学での学びの出発点

キュウリの収穫 27

生活園芸 I から専門教育・副専攻へ

- ・共通教養科目【園芸と生活】
 - 生活園芸Ⅱ 園芸芸術入門
 - 花と生活 園芸食品加工入門
 - 生命科学 自然科学史入門
- ・人文学部文化学科専門科目
 - 庭園文化科目群
- ・人間社会学部人間環境学科専門科目
 - 園芸文化主専攻
- ・(園芸文化副専攻)

カリキュラムの中の園芸科目

28





課外の活動として 地域社会への展開



課題と今後の実施計画

- ・ 学生のいのちと暮らしを支える教育の展開
 - ・ 食農教育・食育・環境教育からのキャンパスライフ全体の見直し
 - ・ 学生生活実態調査→プログラム作成→展開→評価
- ・ いのちのネットワークの展開
 - ・ 園芸を通じた地域活性化
 - ・ 園芸文化副専攻
 - + 体験学習/コミュニティサービスラーニングによる内実化
- ・ いのちの尊厳を体感する人間教育の発信
 - ・ 活動報告会+園芸教育関係シンポジウム
 - ・ ホームページの開設
 - ・ 見学および研修の受け入れ/研修への講師派遣

GP選定をうけての活動

第1回食育講座 畑で採れる野菜を使って



料理研究家タカコ・ナカムラ氏による料理教室 11/29

2007年度その他の活動予定

- ・ 学生生活調査(食生活を中心に)
- ・ 第2回食育講座(毛利シェフを迎えて)
- ・ 収穫野菜レシピブックの作成
- ・ 国内外先進事例調査(カリフォルニア他)



キャンパスの樹木マップ作成と樹木札の設置

ありがとうございました

恵泉女学園大学

